



広報のほりば



登別町開基百年

10月号
No. 108

力強く町民憲章を発表する青年代表

佐々木正幸君 新井田憲司君 遠藤正義君 林 新子さん 加藤マサ子さん

開基百年を祝う

登別町が明治二年に誕生してこととして百年、これを祝う開基百年記念式典、行事が、九月十九日、二十日の両日、盛大におこなわれました。

十九日は、午前十時より登別温泉をスタートして登別、幌別、鷺別の四地区で祝賀パレードがおこなわれました。このパレードはブラスバンド(登別大谷高校、日大高校、国鉄室蘭、自衛隊第七師団)を先頭に、町長、助役等課長以上の職員をはじめ、議会議員、公職者、婦人会など約五百人が市中行進して、全町民とともに開基百年を祝いました。

二十日は、記念式典にさきがけ午前八時より一チーム八人編成で駅伝大会がおこなわれ、次代になう若者が、登別温泉地獄谷をスタートして、三十二キロを継走し登別大谷高校が優勝した。

続いて、先人の遺徳をしのぶとともに二世紀への力強い飛躍を誓う記念式典は、午前十一時より幌別中学校屋体で盛大におこなわれ、町内外招待者五百余名が参列する中で、まず登別町を切り開いた開拓者に黙とうをささげたと、田村助役が開式の辞、次いで高田町長が「大登別建設をめざして今後さらに努力します」と式辞をのべ、引き続き、開基百年を記念して制定した「登別町民憲章を五人の青年男女が声高らかに発表した。

このあと、南議長が二百年への決意を表明、続いて、次代になう青少年の代表二名が、「よりよい大登別町の町づくりにつとめます」と青少年の誓いがあった表彰式に移りました。表彰では、町功労者として、六十八名に対して、表彰状と感謝状が、町長より贈られ、また、これに対し、表彰者を代表して自治功労者の志賀裕氏が「身にあまる光栄でこの感激をわすれることなく、今後も町の発展に尽します」とお礼のことばをのべ、意義深い世紀の式典を閉じました。

総予算額

十四億七、九七三万円

第三回定例議会

第三回定例議会は、九月五日より三日間にわたり開かれました。五日は、例月検査執行報告と八月二十一日発生の集中豪雨災害状況など五件が報告されました。続いて四十二年度水道事業決算の認定について議案一件が上程され、総務委員会に附託して継続審議することになりました。

六日は、各会計の補正予算および、登別町民憲章の制定、工事請負契約、町有財産の貸付など議案七件が審議され、いずれも可決されました。

七日は、固定資産評価審査委員の選任と教育委員の任命など議案四件と室蘭、札幌間道路促進に関する要望決議案一件が可決および決議されて一般質問に入りました。三日間の審議された主なものは次のとおりです。

例月出納検査執行報告

毎月おこなっている出納検査を八月十二日実施したが、諸帳簿および証ひょう書類は正確におこなわれていよとの報告がなされ、これを承認しました。

各会計補正予算

△一般会計

二二、六六八千円を追加し、総額一、〇七四、五九八千円となりました。補正の主なものは、大谷通りおよび、富岸一線、鷺別学田路線

踏切取付道路舗装工事費、肉用雌子牛導入事業負担金、登別町商工労働会館建設費補助金、大湯沼一号二号支線改良工事費、登別中央路線敷地買収費、紅葉谷橋新設事業費、児童、生徒用机、椅子その他備品購入費、道路単独災害復旧事業費、農業用施設災害復旧事業費

△特別会計

清掃事業は五〇〇千円を追加して、総額三〇、五五七千円、観光事業は一三三万五千円を追加して、総額一三九、六五二万二千円、水道事業は一三、三九〇千円を追加して、総額九八、〇〇〇千円。これで、登別町の総予算額は、一、四七九、七三五千円となりました。

固定資産評価審査委員の選任

九月十四日をもって任期満了となった玉川英三郎委員が、再任されました。

教育委員の任命

中川原豊、高橋利市両委員は、九月三十日任期満了となり、このたび、中川原豊氏と須賀武夫氏が任命されました。

一般質問

町政に対する一般質問がおこなわれ、七名の議員より活発な発言がされました。質問の主な内容は次のとおりです。

問 町道における下水管の蓋が不整備のとらぬか。

答 充分配慮し、順次整備する。

問 幼児の教育方針と幼児教育施設を設ける考えはないか。

答 幼児教育を進めなければならないが、現在は義務教育を完全にしてから考えたい。

問 富岸地区に郵便局の設置が必要と思うか。

答 町としては郵政当局に陳情しているが、なかなか困難である。今のところ用地が問題で、検討中である。

問 中登別と登別温泉間の紅葉谷路線が町道となった場合、この路線の落石防止対策と事故発生

の責任体制についてどう考えているか。

答 現在は、土木現業所で防止策をたてており、町道となった場合は、道路管理者として万全を尽す。

問 登別温泉の駐車場の増設はどうなっているか。

答 温泉に近いところに駐車場を設けるようにしたいが、国立公園の特別区域内で、なかなか困難である。地元の期成会とともに強力に進めていきたい。

問 大谷高校前道路の整備時期はいつか。

答 国の助成を得るよう申請中であり、四十五年度の国の整備計画に入れてもらうよう努力している。

問 町内には多くの私道があるが整備費用の一部を町で助成できないか。

答 私道に対しては助成できないので、規格があれば町に移管してもらい、町道として整備するようにしていきたい。

問 修学旅行の安全性と事故防止対策をどう考えているか。

答 最近では道内に切りかえている。また、温泉地以外は宿泊施設が不備であり、現在は温泉地が中心となっている。しかし事故防止対策としては、行先の保健所警察に事前に連絡して、事故が発生しないよう万全を期している。

問 塵芥捨場の定期焼却と定期消毒を完全にすべきである。

答 色々と方法を講じているが、なかなか困難である。できるだけ

街ぐるみで火災をなくそう

ことしも、暖房器具を必要とする季節になり、これからは火災の多くなるシーズンです。一人一人が一致協力しなければ、尊い人命や貴重な財産を火災から守ることはできません。

特に今回は、十勝沖地震およびこの前後の余震により集合煙突の亀裂、破損が相当数予想されますので、点検に留意して、楽しい我が家、わが町を火災から守りましょう。

十月十五日から三十一日まで、秋の全道火災予防運動がはじまります。火災を防ぐため、つぎのことからを守りましょう。

◆火の元を調べる責任者をきめておくこと。

◆老人や子ども、病人はつとめて二階に寝かせないこと。

◆身体が不自由な人や子どもを残して寝ないこと。

問 け附近の住民に迷惑をかけるようにしてはどうか。

答 諸物価の上昇に伴い学校給食費値上げをどう考えているか。

問 牛乳の値上げがなければ、四十三年度は値上げしないと考えていけると思う。今後、委員会センター管理者とも充分相談して検討してみる。

問 保留地公売を早急に実施すべきである。

答 素地については三十五件残っているが、入札、公売等により近いうちに処分する。

◆避難のため、ロープやはしごを用意しておくこと

◆非常口はいつも使えるようにしておくこと。

◆階段の付近では火を使わないこと。

◆火事ときはすぐ消防に知らせること。

◆防災家族会議を開き、消火や避難の方法をきめておくこと。



つ、うっかりが火事のもと

9月の各地ニュース

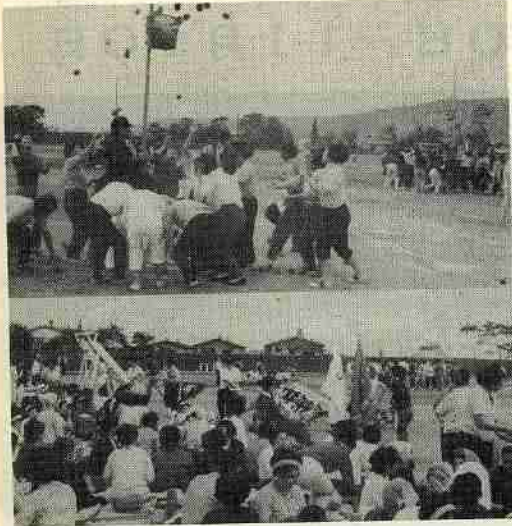
にぎらかに楽しい一日 かあちゃんオリンピック

かあちゃん祭典第三回かあちゃんオリンピックは、九月二十五日、婦人会十二団体から約五百人の婦人が参加して、町宮陸上競技場で、盛大におこなわれました。

九時、富士鉄社宅から聖火ランナー十人以上より聖火リレーを開始し、最終ランナーが競技場にそなえ付けた聖火台に点火し、オリンピックが開会されました。この日は朝から晴天に恵まれ、参加したおかあさんたちは大ハッスル。百メートル競走から始まって、盛り

愛の血液助け合い運動がはじまり、九月二十八日鷺別地区で、献血パレードがおこなわれました。このパレードには、登別大谷高校アラスバンドを先頭に、町献血推進協議会の役員をはじめ、町長助役、議会議員、町内会、婦人会各団体等約百人が参加して、市中パレードし、町民に愛の献血をよびかけました。

パレードで 愛の献血を呼びかけ



玉入競技と各地区応援団

事故死友の霊を慰め合同慰霊祭



子供安全パレード

昭和三十五年より交通事故や水難事故でなくなった十二人の友だちの霊を慰めるため、合同慰霊祭と安全祈願祭がおこなわれました。この日、九月二十三日は、中央公民館において町子ども会後援者連絡協議会の主催で、町子ども会の代表と後援者、交通安全協会役員、来賓等約二百人が見守る中で慰霊祭を始め、各子ども会の代表が、なき友の霊を慰め今後このような悲しい事故が起らないよう誓いの帋文を読みあげると、遺族たちは、なき肉親の悲しい思いを胸にこみあげ、涙を新たにしました。続いて、登別大谷高校の生徒による賛歌がはじまると、事故死したなき友の写真がまつられた前に出席出されました。

長寿をお祝いして 老人クラブ演芸大会

敬老の日を前に九月十一日、中央公民館において、第五回老人クラブ演芸大会がおこなわれました。この日は、各地区の老人クラブからおとしよりが集まって、婦人会のもてなしを受け、三百余人の老人たちを歌や踊りで慰めました。たくさんさんのプログラムも老人むきのものが多く、婦人団体と老人クラブ連合会の代表が出演して、おとしよりの長寿を祝いました。

町政に対する住民の声

町政懇談会

昭和四十二年度の町政は「住民の意思尊重」を柱とする町政の運営からみんなが豊かで幸せな生活ができるよう町政を執行してきましたが、昭和四十三年度も昨年の基本理念を基調として直接みなさんの声を反映させて

町政に対する住民の声
と次のとおりとなります。
会館の設置、七件、道路関係、七件、排水溝、五件、郵便局の設置、七件、交通安全促進、七件、保健衛生、五件、観光開発、七件、体育館新築、七件、消防関係、七件、その他、四件



盛大に文化祭

10月20日～11月10日

文化祭 行事日程



例年おこなわれている文化祭が、ことしも菊花かおる文化の日を中心に実施されます。
特にことしは、登別町開基百年の記念する年に当るので、多くの作品を一堂に展示し、多くの人に見聞していただくため、日程を十月二十日より十一月十日まで組み、多彩な行事が次の日程で盛大におこなわれることになりました。
なお作品展示にあたっては、数多くの出品を、望しておりますので、町教育委員会事務局にご連絡ください。

行事名	期日	時間	会場
三曲・茶道	十月二十日	一三〇〇～一八〇〇	中央公民館
生花展	十月二十日～二十五日	九〇〇～一六〇〇	・
俳句大会	十月二十日	一八〇〇～二二〇〇	・
演劇	十月二十五日～二十八日	九〇〇～一八〇〇	・
写真展	十月三十日～十一月三日	九〇〇～一八〇〇	・
軽音楽の夕べ	十一月十日	一七三〇～二二〇〇	・
祝賀大会	十一月十日	一八〇〇～一七〇〇	・
祝賀、歌謡曲大会	十一月十日	一八〇〇～二二〇〇	・
青年英能発表(演劇)	十一月十日	一八〇〇～二二〇〇	・
郷土開基百年記念物展	十一月四日～十六日	九〇〇～一八〇〇	・
手芸、俳句、絵画展	十月十七日～十九日	九〇〇～一八〇〇	・
開基、特設大会	十月十日	九三〇～一九〇〇	・
フアツションショー	十月十日	一三〇〇～一九〇〇	富士会館
花展	十月十日～十三日	九〇〇～一六〇〇	・
盆踊	十月二十日～二十三日	九〇〇～一六〇〇	ツリー会館

新しく自動車を 取得される方へ

道路整備の費用にあてるため、新しく自動車取得税が創設され、七月一日以降に自動車を取得した場合に適用されます。そのあらまは次のとおりです。

◇どんな車にかかるとか
道路運送車輛法に規定する自動車のうち、大型特殊自動車、小型特殊自動車、小型自動車及び軽自動車のうち二輪のものを除く自動車で中古車を含みます。

◇だれが納めるか
自動車を取得されたかたに納めていただきます。なお所有権留保付の割賦販売の場合には買主が納

めることとなります。

◇納める額はいくらか
取得価額の三%の額です。(下取り車の価額は取得価額に含まれません)

◇免税点はいくらか
免税点は十万円です。したがって取得価額が十万円以下の場合には税を納める必要はありません。

◇無償または低い価額で取得されたとき
無償でされた自動車の取得、その他特別の事情がある自動車の取得、交換による自動車の取得等の取得については、通常の取引価額で取得したものとみなされます。

◇申告書または報告書の提出
税を納めなければならない人は申告書を、免税の場合または非課税の場合は報告書を、当該自動車の登録または届出のときに陸運事務所内の支庁職員に提出します。提出の際には、売買契約書の写その他当該自動車の取得およびその取得価額を証する書類を添付し、同時に現金で納税することになります。

◇申告納付しないときまたは申告納付額が低かったとき
更正または決定をされ、加算金等余分な負担がかかります。

◇減免されたるかた
下肢または体幹不自由者で足代りに使用する自動車を取得した場合には、減免申請書を提出するべしと全額減免されます。

百年記念塔建設に ご協力を

道では、開道百年を記念する記念塔の建設資金を募集しております。

この記念塔は、北海道百年を機会に、開拓に心血を注がれたすべての人に対して感謝と慰霊の心をささげるとともに、先人の偉業を受けつぎ、さらに立派な北海道の建設に努めようとする道民の決意をあらわすために、建設されるものです。

この記念塔は、野幌森林公園に建設され、塔の高さは百メートル総事業費は五億円。今年秋から着工し、昭和四十五年の秋完成される予定です。この建設資金の募金を、次の方法でおこなっておりますので、みなさんのご協力をお願いします。

募金額
一口百円で、多少にかかわらず募金を受け付けます。
受け付け場所
登別町役場企画調査課

今月の納税

◎固定資産税(第二期)

十月十六日から十月三十一日までです。忘れず納期限内に納めましょう。

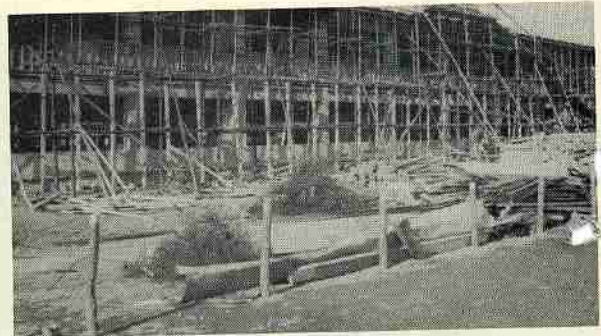
た だ い ま 急 ピ ッ チ

町の建設工事



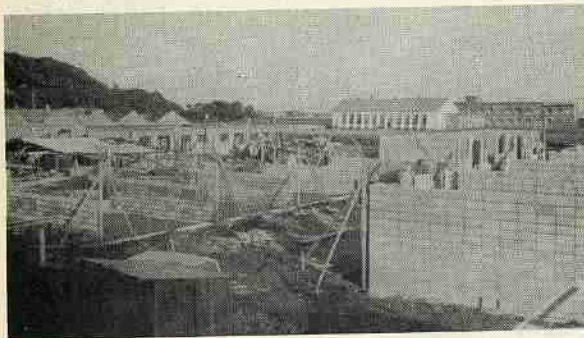
富岸地区農業用施設災害復旧事業

総延長 512 m
 (コンクリートブロック積、床止4ヶ所、架樋1ヶ所・橋梁2ヶ所)
 工費 2,200万円 着工 9月10日 竣工 12月10日



鷺別小学校増築工事

延面積 855㎡ (鉄筋コンクリート2階建)
 工費 2,560万円
 着工 8月7日 竣工 11月30日



公営住宅新築工事

第1種 12戸 (幌別西団地) 第2種 20戸 (幌別西団地)
 工費 2,754万円
 着工 7月18日 竣工 11月30日



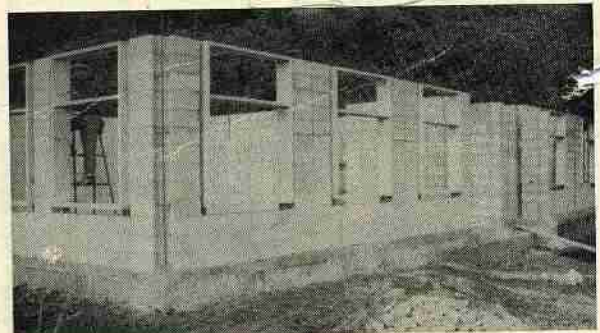
青少年会館の建設工事

床面積 675㎡ (鉄筋コンクリート及び鉄骨造り2階建)
 工費 1,917万円
 着工 8月18日 竣工 12月15日



上鷺別高砂橋人道橋新設工事

巾員 1.5m 延長 28.7m (H型钢)
 工費 969千円
 着工 6月24日 竣工 9月16日



富浦生活館新築工事

床面積 198㎡ (コンクリートブロック)
 工費 560万円
 着工 8月1日 竣工 10月30日

選挙人名簿登録者数

(43.9.20現在)

投票所	地区	男	女	計
中央公民館	来馬・幌別の1部	2,392	2,434	4,826
生活館	幌別	916	960	1,876
大谷高校	川上	593	346	939
富士保育所	来馬の1部	970	961	1,931
富士鉄道会館	富士鉄社宅	1,392	1,458	2,850
曹達工場労働事務所	千歳	261	269	530
富登浦民会館	富登浦別	1,97	227	424
旧家畜試験所	中登別	1,202	1,246	2,448
観光会館	登別温泉	166	190	356
カルル小学校	カール	55	80	135
札内小学校	札内	75	65	140
山崎小学校	山崎	28	31	59
富野組倉庫	富野の1部	92	92	184
鹿野保育所	富野の1部	400	385	785
ひまわり園	上幌別	2,169	1,970	4,139
合計	計	12,927	13,164	26,091

選挙人名簿登録者

二万六千九十一人

昭和四十一年九月から永久選挙人名簿の制度ができました。この名簿に登録された数を投票所別にみると、次のようになります。

旅行費用の積立に

団体貯金を

近所の奥さまグループや職場の友だち同志で旅行を楽しむ人が多くなっています。しかし、費用を一度に全額というよりは、ついでついでになりにがちなものです。そこで、郵便局では、一人一人がなかなか

通常貯金の団体貯金は、グループの一人一人が自分の通帳を持っていて、幹事さんが取りまとめて貯金する乙種団体貯金とグループの代表者の名前で、全員の貯金を二冊の貯金通帳に預け、一人一人の貯金高は、貯蓄

できにくい貯金を、気の合ったもの同志でできる団体貯金をおすすめしております。

郵便局の団体貯金には、通常貯金、積立貯金、定額貯金の三種の貯金があります。

台帳に記録する甲種団体貯金とありますが、

なお団体貯金は、幹事さんのお宅まで、郵便局から集金にかかっています。

なお、くわしいことは町内郵便局にお問合せください。

創立十五周年記念式典・行事

盛大に挙行

幌別駐とん部隊

みなさんに親しまれている自衛隊が、登別町に駐とんしてから十五年になります。

これを記念して、十一月三日(日)記念式典と各種記念行事が多彩にくりひろげられます。

なお当日は、部隊を広く一般開放されます。

主な行事はつぎの通りです。

九時～十時 記念式典およびパレード(幌別小学校グラウンドと部隊から刈田神社までの中央道路) 九時～十六時 趣味作品展示(部

隊内講堂) 十時三十分～十一時 航空機体験 塔乗と非常無線等展示 十時四十五分～十一時 象徴除幕式、庭園開き(部隊内) 十時三十分～十五時三十分 装甲車、花ジープ体験塔乗 十一時～十二時 広報映画上映 (部隊内会議室) 十三時三十分～十六時 演芸会 (部隊内隊員食堂)

計画をたてて

よりよい家庭生活

一人でも多くの方が、計画的な家庭生活をするために、家計簿の記帳を続けていただくよう、今年も貯蓄増強中央委員会では「あかるい家計簿」を発行しました。ご希望の方は、次により幹旋しておられますので、役場産業課にお申し込みください。

価格 一冊六十円

申込期限 十月三十日

配付月日 十二月二十日までお届けします(代金は現品と引替)

美 挙

- 田村仙一郎(幌別) 三〇、〇〇〇円 (愛情銀行へ)
- 吉田義雄(幌別) 二〇、〇〇〇円
- 登別高等学校生徒会 二、四七五円
- コーヒーパー、ルイ 一、三三三円
- 匿名 二件(幌別) 六〇〇円
- 美野田孝子(来馬) 七、五〇〇枚
- 古切手
- 青木婦佐枝(幌別) 衣類二包
- 佐藤栄治(幌別) 運動具七点
- 柳橋重雄(来馬) 衣類二点
- 登別高等学校生徒会 衣類一点
- 登別町育英会(登別町育英会へ)
- 田村仙一郎(幌別) 五〇、〇〇〇円

町の人口

- 男 二二、〇五五人 (九月末現在)
- 女 二一、三九一人 (二月五増)
- 計 四三、四四六人 (一六二増)
- 世帯数 一一、五六一世帯 (一一三増)